

豊かな自然にひと・もの・まちが輝く健康都市 網走

市議会だより

第116号
(令和6年8月)

発行／網走市議会

編集／網走市議会広報委員会



※50音順に議員を紹介していきます

網走市議会 議場席にて

永本 浩子 議員(67) 3期

会派：公明クラブ 委員会：文教民生委員会

澤谷 淳子 議員(63) 2期

会派：公明クラブ 委員会：総務経済委員会
議会運営委員会
広報委員会

【もくじ】

第2回定例会トピックス	2 P
一般質問ほか	3～5 P
西小学校議場見学	5 P
議決結果一覧	6 P
議員研修会	7 P
常任委員会行政視察報告	8 P

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルフォントを採用しています。

みなさまの傍聴をお待ちしております

次の定例会は 9月3日(火) から開催予定

■問い合わせ：網走市議会事務局 TEL 44-3326



中継ホームページ
こちらから

議会だよりを音声でお届け

ボランティア団体「声の図書館そよかぜ」は、目の不自由な方やご高齢の方々に朗読したCDを作成し、無償で配付しております。ご希望の方は、網走市議会事務局までご連絡ください。

総務経済委員会



文教民生委員会 ①



②



トピックス

第2回定例会概要(6/18～6/27)

第2回定例会は6月18日から27日までの10日間で開催されました。歳入歳出予算で一般会計総額9億2085万円の追加補正予算案が上程されました。

総務経済委員会には①～⑦(下表参照)が付託され審査しました。②～⑤については、北海道の補助事業です。ほかに網走市税条例の一部を改正する条例制定等とその専決処分報告を承認しました。また、2件の請願を採択しました。

文教民生委員会には⑧～⑭が付託されました。⑨と⑩については国庫補助金です。ほかに、北海道後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について、

網走市国民健康保険等条例の一部改正について、スキー場圧雪車等財産の取得について審査しました。

また、2件の請願を採択しています。

定例会3日目からは一般質問が行われ3P～5Pのとおり10名の議員が質問しました。

最終日には、⑬について、古都議員(無党派)より「議事録もまだ開示されておらず網走市がどのような主張をして現在の合意形成となっているか不透明、現行の方式では市民に不利益がある」として反対討論がありました。同じく⑬について、松浦議員(日本共産党議員団)より「メタンコンバインド方式について

議会でも十分な議論が無いまま決定した」としての反対討論があり、続いて、後期高齢者医療広域連合規約の変更についても「マイナ保険証による混乱が続いており、6月議会で決めるべきではない」とする反対討論がありました。

起立採決の結果、原案どおり可決されました。

最後に友好交流都市神奈川県厚木市一大イバントである「あつぎ鮎まつり」の開催に併せて同市を訪問し、同市議会との交流を深めるために、議員の派遣を承認して第2回定例会を閉会しました。

令和6年第2回定例会一般会計補正予算の概要

区分	No	補正内容	金額
総務経済委員会	①	導水管更新に対する水道事業への出資金	7,370万円
	②	シロストセンチュウ緊急防除に対する補助金	226万円
	③	麦・大豆生産の技術向上・生産基盤強化等に対する補助金	1億339万円
	④	麦・大豆生産拡大のための農業機械の導入に対する補助金	1億3,897万円
	⑤	農業生産の拡大・生産体制の確立及び労働負担の軽減に対する補助金	5,271万円
	⑥	オホーツク網走マラソン10回記念に対する負担金	300万円
	⑦	道路維持作業車(4tダンプ作業車)の購入	1,371万円
文教民生委員会	⑧	市民相談技術の向上と特殊詐欺等への注意喚起・啓発活動	202万円
	⑨	物価高騰に伴う低所得者への支援金	1億6,419万円
	⑩	物価高等に伴う定額減税の調整支援金	2億2,215万円
	⑪	児童手当の支給システムの改修	6,781万円
	⑫	新型コロナウイルスワクチン接種に対する経費	6,776万円
	⑬	広域廃棄物中間処理施設に伴う経費	668万円
	⑭	潜艇競技艇の購入費	250万円
※第2回定例会の議決結果の一覧は6Pに掲載しています。			9億2085万円

一般質問から

深津



里見



澤谷



永本



小中学校教職員の働き方改革
プレコンセプションケアの推進
エキノコックス症対策

民主市民ネット 深津 晴江



問) 学校教職員の働き方改革が重要、残業時間などの現状と具体的対策は。

答) 教職員の月平均は16.0から44.1時間。理由は教材研究、授業準備、児童生徒の問題行動への対応や保護者対応、中学では部活動指導など。長時間勤務をせざるを得ない状況の教員がいてと認識。負担の軽減を図り生徒と向き合う時間を確保できるよう、環境の充実を図っていく。

問) 女性とパートナーの一生の健康に関わるプレコンセプションケアの推進を。

答) 妊娠のためばかりでなく、若い世代の健康を推進し、より質の高い生活を実現することが目的。啓発をホームページなどで行う。

問) エキノコックス症の認識と近隣町で実施している駆除剤(ペイト)散布の対策が必要では。

答) キツネなど感染動物を介して人体に入り寄生。放置すると命にかかわる。定期検診とホームページで周知を続ける。

特殊詐欺・消費生活相談の
対応、社会教育の方向性について

希政会 里見 哲也



問) 消費者相談件数が増加で推移、対応内容と市民への啓発、相談の連携について何う。

答) スマートフォンや電子決済の普及により若年層・働く世代の相談が増加傾向。市民への啓発は広報誌のほか多種の方法で実施する。警察や地域包括センター等とも相談を連携。

問) 少子高齢・人口減少化における公的な「社会教育」の方向性について。

答) 豊かな心と創造性を持った生活のため協働による「地域づくり」のために、市民の自主的で主体的な活動に向け、学習機会の提供と環境の整備を行う「社会教育」を実施。

問) 地域問題の解決には地域住民の力を借り「しくみ」づくりの必要性が増していく。

答) 地域の主役は地域住民。誰もが安心して暮らせる街づくりのため、「社会教育」の学びも通じて地域の方々と協働し、市も組織横断的に地域課題の対応にあたっていく。

ドローンの活用について

公明クラブ 澤谷 淳子



問) ドローン導入した目的・時期などは。

答) 農林課でR4・R5年度にヒグマとエゾシカの箱ワナ・罠ワナ見回り確認用に。水道部でH28年度に導水管の漏水確認調査用に導入。

問) ドローン飛行には、どのように手続きが必要か。現在、操縦者は何人いるのか。

答) 10時間以上の飛行経験がある者を登録する。また、飛行計画の登録と通報を飛行の都度行う。市の職員9名が操縦者登録している。

問) 登録をしても職員は部署異動があるが。

答) 将来的にドローンの活用分野は多岐にわたる。農林課は鳥獣対策担当者以外もドローン操縦者の研修を受講してもらっている。

問) 民間業者との連携は。

答) 災害協定を締結している建設・測量設計事業者と既に連携している。

問) クマ目撃情報にドローン捜索は。

答) まず猟友会と現地確認が必要なため、クマの動向についてはドローン捜索したことはない。

観光・公営住宅・終活支援について

公明クラブ 永本 浩子



問) 流水観光時のインバウンドの傾向は。

答) 宿泊はコロナ前に回復。米国人が増加。

問) 豪華観光列車「赤い星」をどう活かすか。

答) 高付加価値・高単価商品で富裕層を誘客。

問) 駅前に建設予定だったホテルの進捗状況。

答) 約180室のホテルが26年以降に開業予定

問) 宿泊税に関する議論を始めるべきでは。

答) 道の導入時期に合わせ検討したい。

問) 企業団体への市営住宅の貸出状況は。

答) 2社19人の外国人就労者が大曲、台町の9部屋に入居。町内会活動に参加等が条件。

問) 単身高齢者の入居希望が増加。対策は。

答) 3人以上の住宅を2人から1人以上に緩和する。

問) 火葬トラブル防止のためにも緊急連絡先を事前に登録する取り組みが必要なのは。

答) 高齢単独世帯への対策は重要。高齢者の安心のためにも具体的な検討を行っていく。

問) 生前に葬儀代を託すサポート事業も必要。

答) 国のガイドラインを精査し研究していく。

金兵



村椿



古都



古田



一般質問から

人権・町内会活動・民間活力
の活用について

民主市民ネット 金兵 智則



問) LGBTQ当事者への適切な対応のためのガイドラインを作成し市内事業者の模範となるべく公表すべき。

答) 既に作成し公表もしていたが一時未掲載になっていた。現在は復旧済み。事業者周知をするための手法を今後検討する。

問) 生活保護費の振込遅延が発生し、報道されたためネット上に偏見の言込みがされ受給者が傷ついていると伺っているが。

答) 偏見に基づく意見の表明は遺憾。相談等があった時は法令等に基づき適正に対応する。

問) 町内会活動にDXを活用すべきでは。

答) 今年度行うアンケートでDX化に関する調査を行ったうえでDX化の推進について連合会と協力し検討していきたいと考えている。

問) 市内事業者を優先とする契約の考え方。

答) 透明性・競争性を担保、地元業者育成・受注機会確保・地元経済進行等の観点から入札を実行。今後も法令に基づき、適正に発注。

コミセンの開放を
補聴器助成の増額を

日本共産党議員団 村椿 敏章



問) 去年は熱中症警戒アラートが発生し、コミセンを開放していた。暑い日が続く、大変だった。アラートなしでも開放すべきでは。

答) 熱中症警戒アラート発表でクーリングシェルターとして開放する考え。地域により暑さも違うことから、コミセン等の判断により、アラートの発表がなくてもクーリングシェルターの開設や涼みの対応をしていく。

問) 開始1年目の補聴器助成の実績は。

答) 昨年度は34件、114万1554円。今年はすでに8件に助成している。

問) 市民に待ち望まれていた制度。補聴器の価格は片耳で10万円以上もする高価なもの。買いたくても買えない状況がある。助成額を増額できないか。

答) 身障者の補装具の支給額基準の2/3を助成している。道内でも早い段階で制度を導入。他市と比べて助成額が低いとは考えていないことから、増額は考えていない。

市内の施設の委託契約に
ついて

無会派 古都 宣裕



問) 積算するとずれるから設計書を見直し、違ったと思ったら変えないとおかしくなる。

答) 設計は色々な考え方で積算、賃金を実情に合わせるといくらでも数値は変えられるので公共単価を使う。福利厚生費が計算上、下がるかもしれないが、トータルではその中に含まれていて、福利厚生費・法定福利費等の費用が賄えているだろう。今まで不落がないので、相当の精度で積算ができています。

問) 工事の労務単価と年間の労務単価で考えた時にずれが大きい。車両損料も1年間そこに置く前提と、終わったら次の工事に使える車両損料の考え方は全く違う。

答) 廃棄物の積算は、きちっとしたルールがない。長い歴史の中で今みたいな積算の方法があって、今の物価上昇・賃金上昇そういうところは考慮し、きちっとした積算方法がないので、自分たちでそこを補正するやり方をして現在があるという認識。

移動型医療サービスについて

研政会 古田 純也



問) 利用者の反応はいかがか。

答) サービスに対する満足度について、満足・やや満足との回答が85.2%で今後も車両によるオンライン診療を利用したいと思いますかの問については、利用したいと思う・やや思うが85.2%で全体的に高評価をいただいている。

問) 今後の進展について。

答) 今後は、これまで2つの医療機関での運用の結果を検証し、今年度内において本事業に参画を希望するすべての医療機関拡大していく。

問) 医療Maas広域化運用について。

答) 将来的には近隣を含めた広域での運用を構想している。本年度において、近隣4町と広域運用について協議を進めていく。

※他、中心市街地の鳥獣対策についても質問しました。

一般質問から

松浦



石垣



ごみ処理広域化は市民の
納得と協力が必要

日本共産党議員団 松浦 敏司



問)最終処分場は1期15年、4期分60年間使用可能との計画だが、間違いないか。

答)現在の最終処分場は、計画を上回る埋立てとなり、令和5年10月の測量結果からは、このままのペースでは、残り4年3ヶ月と推計した。堆肥化率の向上や覆土量の削減、嵩上げによる埋立ての延命化策で対応する。

問)供用開始から間もなく問題が出てきたがこの間の整備状況について伺う。

答)平成29年度から令和3年度まで車両や施設整備で約1億6098万円、令和5年度は2軸式破砕機や紙おむつのストックヤードに約1億3186万円の計2億9285万円。

問)この間、トータル21億円を超える事業費をかけてきたが、状況について伺う。

答)最終処分場は昨今の物価高や働き方改革で工事費が大きな負担となっている。追加整備で、負担が効果的であると判断した。

※他、「生理の貧困」について質問しました。

スポーツ基地網走・市民生活
環境について

希政会 石垣 直樹



問)Jリーグ秋春制移行に伴う対応について。

答)2026年～2027年に、シーズン開幕が8月となる予定。その強化合宿が7月中と想定される。移行決定後、網走合宿を実施している女性チームのチーム担当者が、網走に視察に来る予定。Jリーグチームから合宿について問い合わせがある。練習試合も合わせて行いたいと伺っている。

問)総合体育館周辺の街路樹伐採について。

答)付近住民のテレビ放送受信に支障していた。樹齢40年以上を経過し安全面と維持管理を考慮し伐採した。

問)町内会の無い地域の防犯灯について。

答)サン潮見地区については、防犯灯の増設・設置には至っていない。方針に変更はない。一方で町内会の解散により、撤去しなければならない事案が発生している。住宅区域における防犯灯・道路照明灯の設置に関するルールの見直しの検討を始めたところ。

西小学校の3年生が議場を見学しました!

令和6年6月28日(金)に網走市立西小学校の3年生(18名)が、地域への理解を深める学習の一環で網走市役所の職場見学を行いました。はじめに市議会の議場を見学し平賀貴幸議長より、議会のしくみについて説明を受けました。その後は、市役所内を見学し防災・引っ越し・子育てなどについて熱心に担当者に質問していました。



挨拶する3年生代表のお二人



生徒を代表して議長席に登壇(左:平賀議長)

議決結果一覧

第2回定例会の議決結果について（6月18日～6月27日）

議案と議決結果 (○:賛成 ×:反対) ※議長は、議決に加わりません。。	民主市民ネット	研政会	公明クラブ	市民連	同志会	希政会	賛成								
	金兵智則	深津晴江	山田庫司郎	井戸達也	立崎聡一	古田純也	澤谷淳子	永本浩子	松浦敏司	村橋敏章	小田部照	栗田政男	石垣直樹	里見西也	古都宣裕
○議員別議案賛否一覧表（賛否の分かれた議案）															
議案第1号 令和6年度網走市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×
議案第10号 北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
○全議員が可決・承認した議案															
議案第2号 令和6年度網走市水道事業会計補正予算	意見書第1号 2025年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出について														
議案第3号 網走市税条例の一部を改正する条例制定について	意見書第2号 2024年度北海道最低賃金改正等に関する意見書提出について														
議案第4号 網走市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について	意見書第3号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、適正人文学費の実現など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書提出について														
議案第5号 網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	意見書第4号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書提出について														
議案第6号 網走市地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例及び網走市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について															
議案第7号 財産の取得について	意見書第5号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書提出について														
議案第8号 財産の取得について	意見書第6号 医薬品や医療機器の安定供給確保ならびにイノベーション推進を求める意見書提出について														
議案第9号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	請願第11号 2025年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出について														
議案第11号 令和6年度網走市一般会計予算	請願第12号 2024年度北海道最低賃金改正等に関する意見書提出について														
報告第1号 網走市税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の報告について	請願第13号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」の実現など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書提出について														
報告第2号 網走市都市計画税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の報告について	請願第14号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書提出について														



反対討論の様子



起立採決の様子



※Na115号の誤りについて… Na115号7Pの1月31日臨時会について山田庫司郎議員は欠席でした。お詫びして訂正いたします。

令和6年度 議員研修会

令和6年度議員研修会

議長 平賀 貴幸

女性など多様な

人材を議会へ

網走市議会では、5月30日(木)に議員研修会を開催しました。

今回は、一般社団法人ウーマンシフトの代表「本目 さよ」台東区議会議員を講師にお招きし、周辺自治体の議員も参加する中での開催となりました。



講師 東京都台東区議 本目さよ氏



前回(令和6年1月31日開催)に引き続き、市民公開形式で行わせていただいたところ、前回より多くの方にご来場いただき『とても良い研修会だった』『もっと多くの市民の皆さんに来てもらえたら良かった。』とのご意見をいただきました。

今回の研修内容は

- ①女性をはじめとする多様な人材を議会に
- ②議員のセクハラやパワハラを防止する

の2点にテーマを絞って開催しました。

現在の網走市議会は、平均年齢が56歳を超え、女性議員は、16人中3人で約19%となっています。

一方で、市民の多様な意見をより多く反映するためにも、年代や性別など、もっと幅広くあったほうが良いと考えています。

あわせて、「議員がセクハラやパワハラ防止」や、あつてはならないことです。が「議員によるセクハラやパワハラ」は議会としても防止する取り組みが必要です。

こうした観点から、はじめて実施した研修会となりました。

今回の研修会で学んだ内容と、研修の際に実施した参加者へのアンケートの結果を参考にしながら、網走市議会としてさらに取り組みを重ねてまいります。

網走市議会議員研修会

5.30 Thu
15:00~17:30

エコーセンター2F
エコーホール

入場無料

女性など多様な
人による議会
構成を目指す
には?

セクハラ
パワハラを
引き起こす
原因は?

女性議員を
増やすための
取り組みとは?

講師 一般社団法人 WOMAN SHIFT

代表 本目さよ(ほんめ さよ)氏

●WOMAN SHIFTは、地方議員対象の勉強会や意見交換の場を提供する超党派の若手女性議員ネットワーク。2015年から活動を開始し、「若き女性」の政治参加を促す。一歩ずつ実現していくことをミッションに、政治を身近に感じてもらう、声から社会を変える活動を実施中。

●本日は東京都台東区議、現在4年目。



各委員会の詳細報告は記載のQRコードから

常任委員会行政視察報告

総務経済委員会行政視察報告

委員長 井戸 達也



総務経済委員会は、5月21日から5月23日までの日程で宮崎県都城市「官民連携による中心市街地のにぎわい創出」と沖縄県浦添市「島桑による観光・産業振興事業について」の2県2市を視察してまいりました。

宮崎県都城市では、中心市街地に位置する大型商業施設が時代の変化に伴い閉店となったことを機に民間企業との連携により、その建物を活用した子育て世代が主役の新たな視点での市民が集うにぎわいのエリアを創り出していました。

沖縄県浦添市では蚕の飼育で廃棄される栄養価の高い桑の葉を研究し、地域の特産物にするため行政と民間の連携により商品化を進めることで事業が大きく



発展し、後に民間が事業継承するといった理想的な取り組みを伺うことができました。

両市ともに官民連携による取り組みが、まちの発展につながる事業として大変参考になる内容でありました。

文教民生委員会行政視察報告

委員長 永本 浩子



文教民生委員会は、5月14日から17日に3市4箇所を視察を行いました。

愛知県岡崎市では、増え続ける不登校生の問題解決のため、「子どもを変えるのではなく学校が変わる」との理念のもと、学校の中にフリースクール『F組』を設置した画期的な取り組みを視察致しました。明るく自信を取り戻していく子どもたちの姿と「教師魂」という熱い思いに感動しました。

神奈川県厚木市では、「EVゴミ収集車」と「ランドセルに小型カメラを取り付け、子どもの目線で通学路の安全点検」を行う事業を視察しました。EV車の寒冷地使用の課題と子ども目線で気付く危険箇所の多さに驚きました。



神奈川県座間市では、「全職員が相談員」との意識で「つなぐシート」で窓口連携をスムーズにし、民間企業等の力も結集して『チーム座間』を結成！どんな市民の困り事にも寄り添う「断らない相談支援」を視察しました。

どの事業も大変勉強になり、当市の課題解決に活かしていきたいと思いました。